

## 令和4年度 学校経営計画及び学校評価

### 1 めざす学校像

・自制心・回復力がある。その上で  
主体的で挑戦心にあふれ、且つ、思いやり・気配りのできる生徒（登美高生は強いから優しい）の育成

社会で幸せになれる生徒、および、その集合としてよりよい社会をつくることを目的に、  
授業・行事・部活動・地域連携等学校におけるあらゆる教育活動を通して

1. 学習と行事・部活動を本気で取り組む 2. 希望する進路を実現する 3. 地域から愛され信頼される 学校を実現する

### 2 中期的目標

【前提】コロナ禍における安全対策・感染症対策を基本としたうえでの中期的目標・具体的な取組み計画を設定する。

#### 1. 授業の充実と進路の実現

(1) 「わかる授業」「学力がつく授業」「進路に結果を出す授業」に取り組む

① 学力生活実態調査、授業アンケートを軸にしたPDCAサイクルの徹底による授業改善を進める。

② 教師力（教科指導力+人間力）を向上させる。

ー本校オンライン教育理念「生徒の常に傍にいる」を核に、経営推進費計画であるICT機器使用を手段として、学校でも家庭でも学習を保障する仕組みを構築する。

ー教育センター・他校種との連携、教育産業の活用を図る。

③ 「着想・展開・発表する力」を育む取組みを進める。

ーアクティブ・ラーニングの手法を取り入れた能動的な学習法を追求する。

ー発表の舞台を作る。（学級読書会、英語プレゼン大会、情報プレゼン発表、探究授業での発表など）

※学校教育自己診断（生徒）における「授業はわかりやすい」の肯定率（R1:75% R2:84% R3:84%）を、R6年度には87%以上をめざす。

(2) 進学実績の向上

① 「授業・自学自習（≒グループウェアを使用した家庭学習支援の充実）・講習」の一体化と充実を図る。

② 「自学力」の育成ーもっと学びたい生徒のための環境づくりに取り組む。

③ 「国公立志望・看護医療（公務員）希望」ー国公立進学希望者の進路を実現させるとともに生徒の細やかな希望に応える体制づくりを行う。

④ 学習指導要領改訂、高大接続改革に向けた対応を進める。

※共通テスト受験者数（R1:139名 R2:139名 R3:133名 → R6年度・150名）、国公立現役合格者（R1:8名 R2:8名 R3:5名→R6:10名）、関関同立現役合格者（R1:64名 R2:47名 R3:66名→R6年度70名）をめざす。

#### 2. 「自制心・回復力、主体性・挑戦心、思いやり、気配り」 = 左記の非認知能力の醸成を図る。

(1) 「主体的・挑戦的に行動する心」を育成するとともに、「人を思いやることの大切さ」を実感させる。

① 学習と行事・部活動の両立 ー学習に加え、行事・部活動を並行して行うことの目的とつけたい力を言語化、明確にし、働きかける。

② 生徒会活動の自主運営 ー学校祭等の自主企画・運営を行い、生徒に多様な集団活動運営で味わえる成就感、達成感を体験させる。

③ 国際理解の推進 ーコロナ禍において実現可能な、新しい国際交流の事業に取り組む。

④ 人権尊重教育の取組み ー多様な社会の中で、視野・視座の上がる教育を行い、思いやり・気配り力の醸成を図る。

※学校教育自己診断（生徒）「生徒会活動ホームルーム活動は活発である」の肯定率（R1:83%、R2:91%、R3:86%）をR6年度まで常時90%以上をめざす。

※学校教育自己診断（生徒）「人権や男女平等について学ぶ機会がある」の肯定率（R1:82%、R2:90%、R3:90%）をR6年度まで常時90%以上をめざす。

(2) 教育相談体制の充実

① SCを積極的に活用し、本人の希望を大切にしながら情報の共有化を図り、学校全体で支えていく体制を充実させる。

※学校教育自己診断（生徒）「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」の肯定率（R1:81%、R2:88%、R3:84%）をR6年度には90%以上をめざす。

#### 3. 学校力を高める機能的な組織運営と地域連携

(1) 機能的な組織運営と学校情報の積極的発信

① グループウェア、ICTを生かした機能的な校務運営に務める。

② HP・HP内動画作成・学校説明会などを活用して、積極的な情報発信・コミュニケーション強化に努める。

③ 令和5年の100周年記念事業への取組みを軸に、学校運営協議会、PTA、同窓会との連携を強化する。

※学校教育自己診断（教職員）「学校行事や校務分掌等でPDCAが実施されている」の肯定率（R1:61%、R2:68%、R3:58%）をR6年度に75%以上をめざす。

(2) 地域連携の推進

① Withコロナの環境下で、「早朝あいさつ運動、地域清掃、図書館活動、地区文化祭」などへの新たな形での積極的な参加体制を構築する。

※学校教育自己診断（生徒）「授業や部活動など保護者地域の人々と関わる機会がある」の肯定率（R1:56%、R2:51%、R3:54%）をR6年度に60%以上をめざす。

### 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p><b>【生徒】肯定回答平均 82%(R3 81%)と今年度は微増。</b> 学校に行くのが楽しい 87%(R3:87%)安心して学校生活が送れている 93%(R3:93%)と基本的な満足度は高位安定している。教員に対しても学習で努力を認めてくれる 83%(R3 79%)親身になって応じてくれる 85%(R3 84%)困っていることがあれば真剣に対応してくれる 93%(R3 90%)と信頼関係が築けている。この信頼関係を元に、最も大きく伸びた、授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある 87%(R3 78%)のように新しい力の醸成に努めていきたい。</p> <p><b>【保護者】肯定回答平均 84%(R3:83%)と微増</b> 登美丘高校に進学させて良かった 93%(R3:94%)学校に行くのを楽しみにしている 86%(R2:89%)と高位安定している一方で校則・部活動指導等に対する個別意見も頂戴しており向上に努めていきたい</p> <p><b>【教職員】肯定回答平均 83%(R3:86%)と下落。</b> 3年ぶり復活が相次いだ学校行事や、教員減の中の校務分掌等において、PDCAが発揮されている 52%(R3:58%)計画的な教職員研修が実施されている 64%(R3 81%)と改革の必要性が自覚されている。新制定のスクールミッションに沿った生徒育成を推進していく。</p>	<p><b>第一回 6月 21 日(火)</b> ○(進路)国公立は 8 名、関関同立の合格延べ数 71 (R3:53)。産近甲龍については、207(R3 158)と、健闘したと言える。また昨年もダンス部は全国 3 位、文武両道で健闘できている。 ○ 100 周年・学習指導要領・観点別評価・ICT 課題は多いがより素敵な学校づくりを期待する。</p> <p><b>第二回 9月 10 日(土)</b> ○(スクールミッション)登美丘のポリシーも、中学生等外部に向けて、また生徒に対しても登美丘高校らしい言葉の「強いから優しい」を前面に出した方が、インパクトがあり、わかりやすくいいと思う。 ○新しいスクールミッションを元に、100周年に向けて素敵な学校づくりを期待。</p> <p><b>第三回 R5年1月 24 日(火)</b> ○ICTについて 私学に比べて公立校の ICT の取り組みが遅いと感じる。教員の研修や、保護者教員間の連絡の仕組みの取り組みを通じて ICT 推進を望む。 ○令和 5 年度計画骨子について キャリア教育の取り組みと情報発信を強化して、より良い学校づくりに期待する。</p>

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R3年度値]	自己評価
1 授業の充実と進路の実現	(1)「わかる授業、学力がつく授業、進路に結果を出す授業」に取り組む  (2)進学実績の向上	(1) ア・進路希望の実現につながる組織的な授業改善 5月 個人・教科による授業改善テーマ設定 7月 第1回授業アンケートの実施 8・9月個人・教科から振り返りシートの提出 11月 公開研究授業 12月 第2回授業アンケートの実施 1月 個人・教科から振り返りシートの提出 2月 成果発表 コミュニケーションを密にし学校全体の授業力の向上をめざす。 ・学力生活実態調査に基づき、本校生のつまづき科目や単元を学校全体で共有し、話し合いができるような土壌を作る イ・推進費で取得した ICT 機器及びクロームブックを利用し、生徒が授業及び家庭で ICT 機器を使った学習を行う。 ウ・英語プレゼン大会を1年で実施。情報プレゼン発表を充実させ、ビジネスアイデア甲子園入賞をめざす。  (2) ア・「授業・自学自習(≒グループウェアを使用した家庭学習支援・講習)」の一体化と充実を図るとともに、家庭学習の時間を増やす。 イ・「希望別進路指導」の年間活動計画の作成。 ・進学実績の向上を図る。 ウ・学習指導要領改訂、高大接続改革に対応した取組みを進める。	(1)ア・生徒自己診断「わかりやすい授業」85%[84%] ・授業アンケート質問(知識や技能が身についた)学校平均3.40[3.38] ・生徒自己診断「教え方に工夫」80%[77%] 「発表する機会」80%[78%] ・学力生活実態調査でAS合わせ20%以上・CD合わせ10%以下 イ・学校は、生徒1人1台端末の活用を推進している。60% ウ・英語、情報プレゼンの取組みの内容を向上させる  (2)ア・保護者自己診断「1時間以上の家庭学習」58%[57%] イ・ex. 国公立の学年別活動内容を向上させる ・共通テスト受験者140名以上 [133名] 国公立現役合格者6名以上 [5名] 関関同立現役合格者67名以上 [66名] 産近甲龍現役合格者203名以上 [202名] ウ・大教大コンソーシアムに参加	(1) ア・わかりやすい授業 82% (R3 : 84%) △ ・(知識や技能が身についた)学校平均 3.38 (R3 : 3.38 R2 : 3.30) △ ・「教え方に工夫」81%(R3 : 77% R2 : 83%) ○ ・「発表する機会」87%(R3 : 78% R2 : 84%) ○ ・実態調査 AS7.3%(1年9.7%2年5.1%3年7.1%) ・CD30.3% (1年18.1%2年43.8%3年29.4%) △ イ1人1台端末、クロームブックの配布により、自分の端末からの利用が進みましたか72%(新設)○ ウ英語暗唱大会(10/27)プレゼン大会(2/9)情報科プレゼン・大商大情報ビジネスアイデア甲子園に参加○  (2) ア「1時間以上」52%(R3 : 57% R2 : 54%) △ イ・共通テスト受験者101名 (R3 : 133名) △ ・国公立現役合格者5名 (R3 : 5名) △ ・関関同立現役合格者81名 (R3 : 66名) ○ ・産近甲龍現役合格者263名 (R3 : 202名) ○ ウ・大教大コンソーシアムに参加 2名○ 上記内に現役国立医学部合格者もあり、全体的によく頑張った。
2. 「自制心・回復力 主体性・挑戦心 思いやり」    左記の非認知能力の醸成を図る。	(1)「主体的・挑戦的に行動する力」を育成するとともに、「人を思いやることの」を実感させる  (2)教育相談体制の充実	(1) ア・非認知能力向上の仕組みを策定 イ・生指部と学年団の連携により、朝の登校指導を強化し、遅刻を減らす。 ウ・生徒会活動の自主運営に取り組む。(学校祭等の行事) エ・修学旅行、国際交流事業の実施。 オ・計画的な人権尊重教育に取り組む  (2) ア・学年団会議等で生徒の情報交換を密にし、SCとの積極的な連携を図る。	(1) ア・高大接続で研修実施 イ・遅刻総数の昨年5%削減 [1,742]、[1,834] ウ・生徒自己診断「生徒会・HR活動が活発である」87%[86%] エ・修学旅行生徒満足度90%以上 オ・人権学ぶ機会91%[90%]  (2)ア・生徒自己診断「親身になって応じてくれる先生が多い」85%[84%]	(1) ア・岡山大学中山准教授教員研修(12/7・2/1)○ イ・遅刻1568(R3 : 1,834)○ ウ・生徒会 HR 活動84%(R3 : 86% R2 : 91%)△ エ・修学旅行は目的地変更によりアンケート未実施・国際交流は3月に復活次年度以降 △ オ・人権学ぶ機会91%(R3 : 90% R2 : 90%)○  (2) 親身な先生85%(R3 : 84% R2 : 88%)○ 先生はいじめに真剣に対応してくれる91%、プライバシーを守ってくれる92%と合わせ安心して学校生活を送れている93%につながっている○
3 学校力を高める機能的な組織運営と地域連携	(1)機能的な組織運営と学校情報の積極的発信  (2)地域連携の推進  (3)働き方改革に対する取組み	(1) ア・グループウェアを導入、学年団と分掌等の連携強化を図り、業務の効率化に取り組む。 ・前年度の総括に基づき、「PDCA」サイクルを意識して回していく。 イ・OJTを重視し、若手教員の育成を図る。 -「インターメディアイトセミナー」、「10年研」を連動させる -広報活動への積極的な参画 ウ・若手教員視座向上の座談会を開催する。 エ・HPの内容を充実させ、アクセス数の更なる増加をめざす。 オ・PTA、同窓会との連携を強め、創立100周年(R5年)に向けた準備を進める。  (2) ア・コロナ禍でできる、新たな地域活動への積極的参加「早朝あいさつ運動、地域清掃、図書館活動、地区文化祭などの取組みに参加し」、地域の活性化に貢献する。  (3)ア・グループウェア・ICTを活用、働き方改革に寄与する。	(1) ア・教職員自己診断「情報交換」72%[71%] 「PDCA」70%[58%] イ・各OJTの取組み参加人数12名以上[12名] ウ・座談会を4回以上開催 エ・HPの内容充実とアクセス数の昨年同等以上[102,049] オ・記念事業の計画案の策定と運用  (2) ア・生徒自己診断「授業や部活動で保護者や地域の人々と関わる機会がある」55%[54%]  (3) ア・ペーパーレス及び会議削減。	(1) ア・「情報交換」70%(R3 : 71%)△ 「PDCA」52%(R3 : 58%)△ 今年度は3年ぶりの行事復活が多く難易度の高い業務が多かった。 イ・対象人員が少なく機能的に実施できず△ ウ・座談会3回実施△・継続が重要 エ・HPの内容充実。校長ブログ59回 TOMIOKA NOW_93回・TOMIOKA MOVIE 掲載動画は累計36本と内容は充実○ アクセス数127,077(R3 : 102,049)○ オ・記念事業として、「卒業生からのメッセージ」現在55本(昨年同時期14本、プレ記念イベント実施(6/19)、100周年記念ダンス完成 本年11/11式典実施に向け準備を行う○  (2) ア・保護者・地域と関わる52%(R3 : 54%)△ コロナ禍で未だ実施できていないものがあり次年度の課題とする。  (3)情報の伝達・共有の主はグループウェアとなり、職員会議もペーパーレスを実現できている○